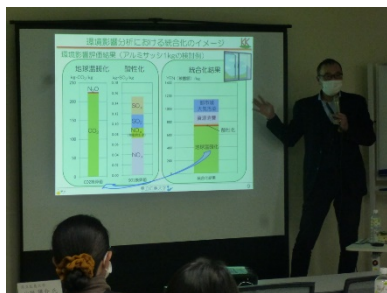


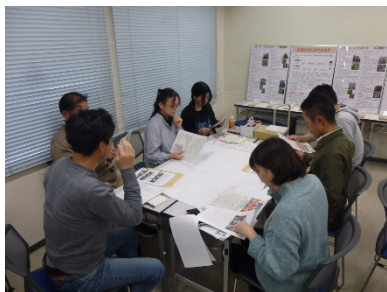
ひろしま木育アカデミー2023 第8回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第8回その他編－企業における木育－を12月16日(土)にRCC文化センターにて開催しました。

前半の講演会では、はじめに「なぜ企業で木育？」について株式会社モリアゲ（元林野庁木材利用課課長）の長野麻子様にお話しいただきました。木育と企業の関わりを環境・経済・自然・文化の視点から、モリアゲと企業等の連携による森の恵みの価値化と森林業の活性化の事例を挙げながらその意義と必要性を解説いただきました。次に、「木材利用と環境」について県立広島大学の小林謙介先生にお話しいただきました。木材利用と環境の関わりを公共・事業者・消費者の立場から、広島県の実例やデータを取り上げながらお話しいただきました。最後に、「実践事例紹介」として広島西部ロハスの会（永本建設株式会社）の永本清三様にお話しいただきました。特に、森林・木材を通じた地域貢献の大切さについてのお話がとても印象に残りました。



後半は、「木育プログラムを企画しよう」として、はじめに木育プログラムの企画・準備から実施、振り返りまでの全体の流れを確認しました。次に、シナリオを基にして木育のセミナーを考えるワークショップを行いました。シナリオ「(概要) 地元のHスーパーで企画・運営の仕事をしているAさんが木育アカデミーの受講をきっかけに「現在の広場のおもちゃを木製のものに変えたい」と社内で提案したものの、たくさんの否定的な意見が出たことから、木材のことを知ってもらうためのセミナーを社内で開催しようと考えました。」を読み、従業員20名程度を対象に積み木を用いた「現在の広場のおもちゃを木製に変えることの意味」を知ってもらうためのプログラムの内容を考え、グループと全体で共有しました。難しいと感じている方もいましたが、一連の活動を通して木育プログラムを考える際のポイントを共有できたのではないかと思います。



8回目のその他編－企業における木育－は、第1回から第7回までのまとめと学んだことのアウトプット、実践への繋がりを意識した内容としました。第8回までのこれまでの活動が様々な場面で生かされること、実践に繋がることを期待しています。そして、広島における木育の輪がもっと広がればよいなあと考えています。

(文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝)